

# 平成27年度「生きる力」実現・学校カパワーアップ事業 全体構想

文京区立誠之小学校

## 【文京区教育ビジョン】

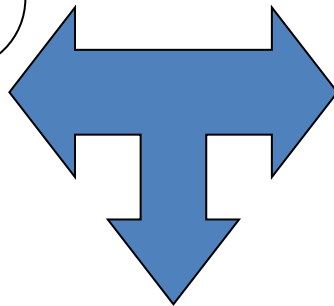
「個が輝き共に生きる文京の教育」

## 【文京区教育委員会教育目標】

- 心身ともに健やかで、自他を尊重し、人間性豊かにたくましく生きる人
- 自ら学び考え、表現し行動する人
- 社会の一員として広い視野をもち、日本の将来を担う人
- 地域を愛し、共に生きる社会を築く人

## 児童の実態

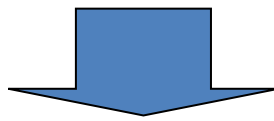
- ・学力の基礎・基本を身に付けている児童が多くいる一方で、学習支援を必要とする児童もいる。学力の二極化が顕著である。
- ・自分に対して自信がもてない児童や、友達との関係が希薄な児童がいる。
- ・素直で真面目な児童も多いが、規範意識の低下が目立つ。



## 本校の教育目標

人権尊重及び「誠之人道」の精神を踏まえ、豊かな心と生涯学び続ける意欲をもち、たくましく心身の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。

- ◎ 心身ともに 健康な子
- よく考えて やりぬく子
- 心豊かで 思いやりのある子
- 自分のよさを生かし 人のためになる子



対応すべき課題	事業（取組）名	期待される効果
確かな学力の向上	「豊かな心の育成」 規範意識を高めるため、社会ルールの大切さについて考えさせたり、自分の意見をもち他の意見と比べさせたり、自分の意見を深めたりすることができる児童を育成する。道徳の授業を大切にし、講師より講演をいただく。	友達との関わりや異学年交流の場を含めた生活場面全体において、周囲の状況を考えたり、友達や下級生などの他者を思いやったりすることができるようになる。また、粘り強く目標に向かって取り組む行動力を高めることができ、規範意識も育つと期待できる。児童が自己実現を図り、計画的・主体的・実践的な行動が取れるようになる。
	「健やかな体の育成」 日常的に取り組める運動の精選をする。全単元において児童の運動感覚を高めるための補助運動の開発をする。運動に親しみたくなる魅力的な遊びや用具を提供する。運動する時間と場の設定をする。	児童が自信をもち、自らすすんで物事に取り組み続けようとする気持ちをもつことができたり、あきらめずに努力を続けたりするようになる。また、運動に親しもうとする児童が増え、生涯を通じて運動に親しむきっかけを得ることができる。
	「習熟度別学習」 習熟度別学習において、児童の実態に見合った適切な教材・教具を精選し、整備することで、より一層習熟度別指導の充実を図る。	学力の二極化という課題を解決するために、算数科においては、習熟度別学習を効果的に活用していく。児童の実態に見合った教材・教具を効果的に活用すれば、児童が、「わかる、できる、楽しい」を実感し、基礎・基本の定着が期待できる。
教師の授業力の向上	校内研修会 「生命(いのち)が輝く子供」をテーマに、国語の研究に取り組み、年6回の研究授業・研究協議会を実施する。	若手教員や国語の研究に携わった経験の少ない教員に対して、国語の指導の在り方、研究の仕方などを講師から指導していただくことで、全教員が意欲的に教材研究に取り組むことになり、授業力の向上が期待できる。

特色ある学校づくり	「優れた伝統や文化に触れる活動」 「邦楽タイム」を実施し、演奏家による日本古来の楽器(琴・尺八)演奏を鑑賞する。	日本の伝統・文化に触れ、理解を深めることにより、伝統・文化を大切にしようとする心が育つ。また、豊かな表現力・コミュニケーション力の基礎の育成が期待される。
	「飼育・栽培・観察活動」 花壇やビオトープを整備し、草花・野菜などの栽培や観察を行う。また、烏骨鶏を世話し、飼育する。	土に親しみ、植物・自然と触れ合う活動を通し、植物に積極的に関わる児童が増え、豊かな心の育成につながる。また、動物を飼育することで、生命の大切さを知るとともに、動物を慈しむ心が養われる。
	「自然体験活動」 動物園・公園などで、森林インストラクターによる動植物の観察やバードウォッチングを実施し、自然体験の場とする。	自然や環境についての関心が高まるとともに、自然愛護の精神が養われる。また、様々な動植物の学習を通して、より調べようとする探究心が培われる。
総合的な学習の時間の充実	「読み聞かせタイム」 地域の図書館員や、読書サポーターによる読み聞かせの時間を設定し、読書に対する興味・関心を一層高める。	読書がより好きになることはもちろん、様々な世界に目を向けたり、夢や志をもったりする児童の育成が期待できる。豊かな心の育成につながる。
	「宇宙への挑戦」 宇宙科学研究所による講演を実施し、天体に対する興味・関心を高め、理解を深める。	自然に対して、畏敬の念をもつとともに、夢や志を高くもったり、自己の生き方を考えることができるようになったりする。
	「子供のための哲学」 小学生向けの哲学の講演を実施し、ディスカッションを通し、自分の意見を深める。	哲学に関する講演を聞き、自分を振り返り、自分の考えを大切にするとともに、いろいろな考え方があることに気付くようになる。ディスカッションを通して、自ら考え、問題の解決に向けて主体的に取り組めるようになる。
	「セーフティ教室」 児童の犯罪被害防止に役立つよう、「犯罪に巻き込まれないための身の守り方」について講演をしていただき、実際に身の守り方を練習して学んでいく。	「セーフティ教室」の講演や実技を通して、不審者に気付くことができるようになり、児童が自ら身を守ったり、安全について考えたりするようになる。また、日ごろから正しい行動をすることにつながる。
家庭・地域との連携	「誠之スタイル」による家庭への啓発活動 児童の基本的な生活習慣や学習習慣の確立における家庭の重要性について啓発するため、子育ての在り方を「誠之スタイル」としてまとめ全家庭に配布する。	学校の方針を家庭・地域の方に知ってもらうとともに、家庭と地域と学校が同じ姿勢で子育てに関わるという共通理解を図ることができる。「誠之スタイル」を配布することによって、学校の教育方針に基づく教育指導の理解の上に立って、保護者・地域の学校支援を得ることが可能になる。
その他、学校・園の教育課題	「140周年式典」 開校140周年を祝う児童の気持ちを、式典当日、表現する。	式典のアトラクションで、児童が開校140周年を祝う気持ちを表すことにより、愛校心が育つとともに、より一層学校を支えていこうとする意欲や、伝統を下学年に伝えようとする気持ちが高まる。
	「140周年記念集会」 開校140周年を祝って、全校で記念集会を開催する。	全校で記念集会を開催することにより、企画力・実践力・協力体制の大切さが分かるとともに、それらの力が身に付くことが期待される。
	「140周年に向けての環境整備」 学校の歴史や伝統を紹介するために、資料より写真を拡大し、掲示する。掲示物を紹介する説明コメントを作成する。	児童が学校の歴史や伝統に興味・関心をもち、自ら調べようとする探究心が育つ。また、愛校心にもつながっていく。